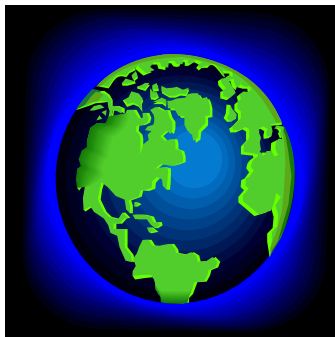


《 ピーター・ドラッカー生誕100年記念シンポジウム 》 グローバル化とマネジメントの役割



日 程：平成21年7月4日（土曜日）
 時 間：13:30～16:30
 回 数：1回
 定 員：100名
 受 講 料：無料
 会 場：淑徳大学サテライトキャンパス
 （JR池袋駅西武口より徒歩2分）

【ポイント】

P. F. ドラッカーは1908年にオーストリアで生まれ、今年で生誕100年を迎えます。

ドラッカーはその青春時代に第一次大戦前までつづく第一次グローバル化の中で生き、そして2005年に亡くなるまで、現下の第二次グローバル化を体験したことになります。

したがって社会生態学者としてのドラッカーの思想、マネジメント理論は、グローバル化という歴史的軌跡の中から生まれたといっても過言ではありません。

本シンポジウムでは、現下の進化するグローバル化の光と陰の中でその意義を問い、ニュー・フロンティア実現に向けてのマネジメントの役割を考えます。

【プログラム】

《学会代表挨拶》 ドラッカー学会理事 上野 周雄

《淑徳大学代表挨拶》 淑徳大学学長 長谷川 匡俊

《記念講演》

●「進化するグローバル化とポスト・モダニズム」

上田 惇生 （ドラッカー学会代表／立命館大学大学院客員教授）

●「2つのグローバル化の光と陰」

藤島 秀記 （ドラッカー学会理事／淑徳大学大学院客員教授）

《シンポジウム》（100分）

●「グローバル市場の進化と企業経営の将来」

モデレーター： 森岡 謙仁 （アーステミア有限会社代表取締役社長）

パネラー： 岡田 匡令 （淑徳大学国際コミュニケーション学部学部長）

〃： 長島 基 （富国生命保険相互会社監査部課長）

〃： 大木 英男 （株式会社R&S顧問）

〃： 佐々木 英明 （エクソンモービル人事統括部長）

（一部講師に変更がありました。）